

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [岐阜県立恵那高等学校] 担当教諭名 [夏目 佳代子] (英会話部 12名)

相手国・地域 [ドイツ]

海外学校名 [Bonn International School] 担当教諭名 [Jane Taylor]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクト	52

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Look ahead to the bright future
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	新型コロナウイルス感染の拡大で世界中で苦しい状況が続いているが、国境を超えてお互いに助け合い、自分たちが望む明るい未来、よりよい未来をまっすぐに見つめ、前向きに進んでいこう。Goal3(すべての人に健康と福祉を)、Goal6(安全な水とトイレを世界中に)が達成された世界をつくっていこう。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・世界が直面している状況やSDGsについて、現状を知り、どうしたらよりよい社会、世界をつくっていけるか考えることができた。 ・相手と意見が合わなかった時に、相手の立場に立ち、どうしたらお互いが納得できるか考えることができた。また、自分の意見もしっかりと伝えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ学習の共有が十分にできなかったこと。今まさに国を超えて考えさせたいテーマであったが、プロジェクトに期待することが相手校と違った部分もあり、協働学習を深められなかったことが残念だった。 ・時差はあるものの、もう少しリアルタイムで相手校の生徒と話したり、個々の生徒とのつながりをつくったりできるとよかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツや世界の国々についてもっと知りたい、訪れてみたいという思いをもった。 ・地球規模の課題について理解を深め、協力して解決していきたいという思いをもつようになった。 ・様々な考え方がある時、相手の意見を尊重した上で、よりよい案を出し合うことが大切だと気付いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界にはいろいろな価値観があり、そこで、「相手はこうだ」と決めつけるのではなく、なぜ相手がそう考えるのかを客観的にとらえることが大切だと改めて感じた。また、交流がスムーズに進まない時こそ、生徒にどうしていくとよいかを考えさせることで、多様性を受け入れる力を高めることができると感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介動画、恵那高校、岐阜の紹介プレゼンテーション動画の作成。フォーラムで共有した。 ドイツの生徒2人、先生と zoom ミーティングを行う。COVID-19 感染拡大後の生活、学校の様子、感染予防対策について交流した。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことだからこそ改めて調べることで魅力の再確認ができた。 英語がなかなか聞き取れなかったけれど、話せて楽しかった。 日頃から日本や世界で何が起きているかに興味をもつことが大切だと思った。 	部活動11
共有 テーマ学習	7月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> DEAR(開発教育協会)の教材を用いて、「わたしの気持ち」「何が起こった?どう感じた?」「COVID-19をめぐり様々な意見。情報」について思いを共有し合う。 日本の学校、社会、国の政策について英語でミニポスターにまとめる。 これからの世の中がどう変わっていくと思うか、どう変えたいか、よりよい未来のビジョンを話し合う。 話し合ったことやまとめたポスターはフォーラムで共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ウイルスに感染する恐怖だけでなく、不安から生まれる差別やマスクの高騰を利用した転売などの問題もあり、改めて世界には変えなければいけないことがあると感じた。この気づきを見失わずに改善に取り組みたい。 他人への思いやりがありつながり大切にできる社会、心も体も健康で幸せに暮らせる社会、をつくっていききたい。 コロナ収束後の、望む明るい未来を壁画で表したい。 	部活動12
融合 メッセージ作成	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsGoal3 と Goal6 について学ぶ。 壁画の構図とデザインを考える。 年賀状の作成 	<p>テーマ学習で話し合った未来のビジョンを表したデザインを提案した。お互いの意見が合わずもどかしさを感じていたが、お互いが納得できるデザインをじっくり考えることができた。</p>	部活動11
創造 壁画制作	1月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画の制作。制作の過程はフォーラムで共有する。 メッセージカードの作成 	<ul style="list-style-type: none"> こんなに大きな壁画を描いたのは初めてだったけれど、みんなで協力し合って、1つのものを完成させる素晴らしさを実感することができた。 	部活動15
評価 振り返り 自己評価	2月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画の制作と送付 年賀状とメッセージカードは壁画と一緒に送った。 これまでの学習を振り返り、自己評価を行う。学んだことや今後にかしたいことを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちだけでなく、相手がどう思っているのかを考えることが大切だとわかった。 お互いの意見を取り入れるということは、大学でも社会でも、国を問わず大切だと思うので生かしていきたい。 	部活動3

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	自分の学校や地元についての魅力に気づくことができた。相手国や生徒に興味をもち、魅力や良さに気づくことができた。文化や考え方の違いを理解し、相手の立場になって考えられた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	互いの意見が合わなかった時に、なぜ相手はそう考えるのか、自分たちの案が本当にテーマに沿っているかを考えることができた。自分たちがなぜそう考えるのかを論理的に説明しようとしていた。
主体的に考え行動する力	4	どの生徒も自分の考えを仲間にしかりと伝えることができた。絵を描くことに対して苦手意識をもっている生徒もいたが、デザインを考えたり壁画を描いたりすることに積極的に取り組んでいた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	意見が合わない中でも、お互いの想いを表現できる壁画を作成したいという思いで、よりよい案を考えることができた。メールやフォーラムのやりとりを通して、お互いの理解を深めることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	テーマ学習を踏まえ、伝えたいメッセージを英語や壁画で表現することができた。壁画を見る人に、こんな想いになってほしいという視点でデザインを考えたり、丁寧に制作したりすることができた。